

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- 環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線に関する基礎的な情報の発信や地域の環境再生への取り組み、放射線リスクコミュニケーションの取り組みを実施しています。
- 放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

これまでの活動状況

2月28日時点

項目	2025年度 2月分	2025年度 累計	
■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター (単位：回)			
自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	2	11
	専門家派遣	3	12
住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	0	6
	車座意見交換会	1	22
	放射線教育の支援	1	155
■環境再生プラザ (単位：回)			
専門家派遣	自治体など	0	12
	小中学校など	5	62
	その他	0	26
移動展示	2 (2日)	42 (45日)	
■その他 (WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)			
内部被ばく検査 (WBC)	2	59	
ガンマカメラを活用した放射線測定	0	20	

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター)

放射線による健康不安等に関する各種相談対応、専門家派遣、研修会やセミナーの開催、線量測定等の支援を行っています。

◆研修会

2/17 ふたばプロジェクト
2/18 専門家講師等

◆専門家派遣

2/4 大熊町への移住希望者
2/8 いわき市危機管理課
2/14 ふくしまの食相談センター

◆車座意見交換会

2/23 福島県立相馬高等学校等

◆放射線教育の支援

2/24 福島県立福島工業高等学校



自主防災組織が行った放射線測定実習 (2/8)



双葉町での研修 (2/17)

(環境再生プラザ)

市町村や学校などに環境再生に関する情報の提供、専門家派遣・移動展示を行っています。これらの取り組みを通して地域とのコミュニケーションを推進しています。

◆専門家派遣

〈小中学校など〉

2/18 白河市立大信中学校
2/19-20 相馬市立中村第一小学校
2/25 玉川村立玉川中学校
2/27 中島村立中島中学校



除去土壌再生利用についての講義 (2/18 大信中学校)

◆移動展示 * 紙芝居貸出

2/6 福島市立ふくしま支援学校
2/19 相馬市立中村第一小学校



線量計を利用した遮蔽実験の様子 (2/18 大信中学校)